

営農経済部 稲作 特別情報

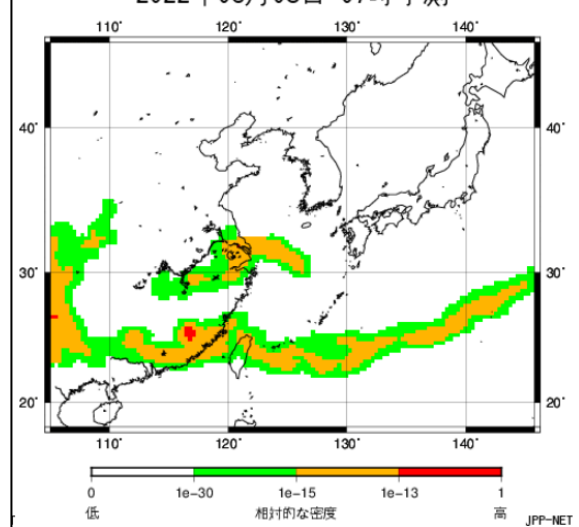
管内 18 地区の定点圃場にて、分けつ、草丈などの生育状況、病害虫の発生状況などを重点に調査を行った“**水稻生育状況調査**”結果を提供しますので、ご活用ください。

気象庁は、6月6日に関東甲信地方が平年より1日早く、昨年より8日早い“梅雨入り”を発表した。

JA広島市管内では、晴天が続いた5月でしたが、6月に入り、待望の降雨がありました、まだまだ水不足の地域は多く、今後の降雨を期待したいところです。

ウンカ類飛来予測図

2022年06月08日 07時予測



▲一般社団法人 日本植物防疫協会より

◆ トビイロウンカ（令和4年6月6日現在）

JA 広島市管内では、

トビイロウンカの飛来は未確認。

※梅雨前線の影響により、大陸からの飛来が予想されます。引き続き、今後の動向に注意してください。また、株元を中心に観察を行ってください。



◆ スクミリングカイについて

淡水巻貝の一種で、田植え後 3 週間程度までの水稻を食害します。

近年、JA広島市管内の南部地域において、局地的にスクミリングカイ(ジャンボタニシ)が発生しています！

【生態】

- ・水温 15～35℃で摂食活動を行い、14℃以下では活動を停止し、休眠(越冬)する
- ・卵はピンク色でよく目立つ！！

【食性】

- ・雑食性で、主として植物質を食べるが、魚の死体など動物質も食べる！
- ・稲は3～4葉期までが食害されやすいが、5葉期になるとほとんど食害されない！！



▲スクミリングカイ成貝と卵塊

◆ 防除対策・薬剤

稲の生育や収量に大きな影響を与えますので、防除を徹底しましょう！

品 名	使用時期	回数	10a あたりの使用量	規格	当用価格（税込）
スクミノン粒剤	収穫60日前まで	2回以内	1～4kg	2kg	3,089円
パダン粒剤4	収穫30日前まで	6回以内	4kg	3kg	1,277円